

⑪ 八聖殿を尋ねる (オプション三溪園)

2021.11.13 Ikuta

催行日時：11月24日(水) 桜木町駅東口 A班09:50、B・C班10:00集合

A班：中川 9:15～9:45 桜木町 市バス 8系統(本牧車庫行) 9:58-10:26 本牧大里町
B・C班：中川 9:24～9:54 桜木町 市バス 8系統(本牧車庫行)10:07-10:35 本牧大里町
(中川 9:42-10:12 桜木町 市バス 8系統(本牧車庫行)10:27-10:57 本牧大里町)

市バスは混雑が懸念されるため、A班、B・C班の2組に分け10分間隔で乗車とします。



(当日は 11:30 から、八聖人像其の他に ついての説明頂く予定です。その前に 園内見物と1階の資料見学を想定)

JR桜木町駅東口 2番乗場から市営バスに 乗車。三溪園入口の次のバス停、本牧大 里町バス停で下車(乗車時間30分)、徒歩 10分で本牧臨海公園の丘の上に「八聖殿 郷土資料館」があります。

熊本県出身で元豪商の政治家、内務大臣・ 安達謙蔵氏により、1933(昭和 8)年に国民 精神修養の場として建造された。「八聖殿」とは、8人の聖人を祀る神殿の事 で、安達氏自ら選んだ 8 聖人の等身大立像 が 2 階の講堂に祀られている。

「八聖」とは、キリスト(銅製、清水多嘉示作)、 ソクラテス(青銅製、藤川勇造作)、孔子(北村 西望作)、釈迦(木製、田島亀彦作)、聖徳太子 (白銅製、朝倉文夫作)、弘法大師空海(木製、 長谷川枅蔵作)、親鸞(銅製、長谷秀雄作)、日 蓮(銅製、日名子実三作)を指す。

建物は安達謙蔵(1864～1948)の別荘と して 1933(昭和8)年に完成。1937(昭和 12)年に横浜市に寄贈され、周辺は本牧臨 海公園として整備された。1973(昭和 48) 年「横浜市八聖殿郷土資料館」と改名。

横浜市八聖殿郷土資料館

昭和八年十二月十三日、かつて通信 内務大臣を歴任した政治家安達謙蔵が 奈良法隆寺の夢殿をかたどって世界の 八聖人像を安置し、精神修養の道場と して八聖殿の開殿式を行った。

昭和十二年横浜市に寄付され、昭和 四十八年三月に郷土資料館として活用 することになった。

展示品は、民俗資料、その他の文化 財で市民に郷土の歴史を伝える常設の 機関になった。この地は、開港当時、 鳥取藩警備の陣屋で海防の見張番所を 置いた所である。

昭和四十八年十一月

横浜市



郷土の歴史を伝える資料館として、幕末から明治にかけての本牧、根岸の写真や市内で使われていた農具や漁具を中心に展示。今では想像しがたい漁村であった 横浜の面影を伝える貴重な 博物館です。

八聖殿の後、希望者は三溪園 に向かいます。



都筑区荏田にあった豪農住宅の1間を移設



昭和30年代まで使われていた漁具



ペルー艦隊、本牧沖を測量し崖に文字記入



葛飾北斎の神奈川沖波浪は本牧沖であった

